

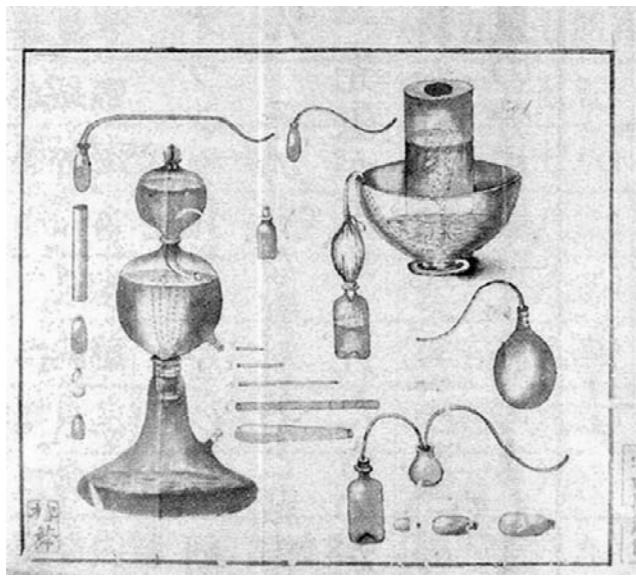
未来に功績伝える

未来に功績伝える
にわが国の化学の功績を伝えていく。
(日本化学会協力)



第001号

杏雨書屋蔵 宇田川榕菴 化学関連資料



化学用語を創作
幕末の蘭学者である宇田川榕菴は蘭書から西洋薬物学を研究し、化学を理解し、化学の概念を伝えるだけではなく、日本語の化学用語で、日本語の化学の創始者といえる。

（武田科学振興財団 杏雨書屋）

第003号

具留多味酸 試料

認定化学会遺産は池田が最初に昆布から抽出した「具留多味酸」試料である。（味の素「食とくらしの小さな博物館」）



つまみ成分商品化

わが国の物理化学草創期に活躍した池田菊苗は甘酸・塩・苦以外に感じる「第五の基本味」を探索する。

電気分解によるイオンの生成は当時の科学の最先端の概念で、物理学者ならではの発見、調味料として工業的製法を確立し、「味の素」の名称で商品化された。

第005号

ビスコース法レーヨン工業の発祥を示す資料



人絹糸と紡糸機
フランスのシャルトンヌがレーヨンを開発し、1892年には日本にも紹介された。1912年、秦選三はビスコース法レーヨンの研究を始めた。当時の大商社である鈴木商店の金子直吉がレーヨンの工業化に着手。レーヨンの発祥。（研究遺留品と人絹糸は帝人蔵事業場）

化学で 彩りと快適を 提案する。

私たちDIC株式会社は、化学を通じて地球環境の保護や安全・安心な社会作りに貢献します。化学技術のイノベーションを常に追求し、生活に彩りを添え、快適な毎日を実現する新たな価値創造にチャレンジします。

DIC株式会社
ディーアイシー

Color & Comfort by Chemistry

最先端の化学で、新しい価値を。

JNC株式会社、始動。

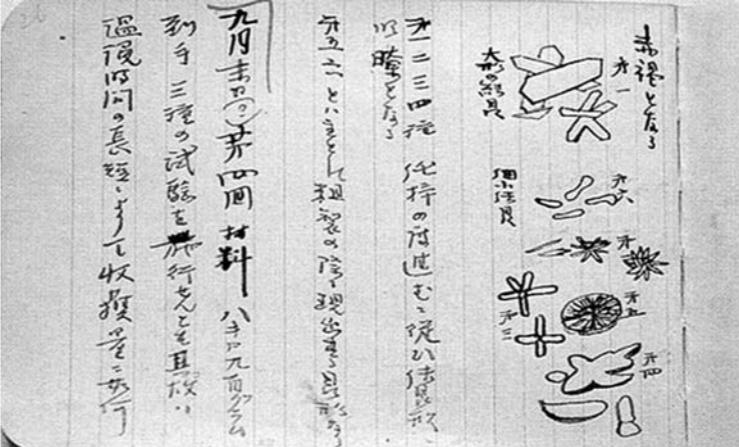
私たちJNC株式会社は、チッソ株式会社からの事業譲渡を受けてスタートした化学メーカーです。液晶テレビや有機ELディスプレイのための電子情報材料、リチウムイオン電池や太陽光発電に用いられるエネルギー・環境関連製品、豊かな暮らしに貢献する不織布などの樹脂加工品、便利で快適な生活を支える石油化学製品・ライフケミカル製品など、私たちは、最先端の化学で、あらゆる産業のニーズにお応えします。

JNC株式会社 〒100-8105 東京都千代田区大手町2丁目2番1号 新大手町ビル9階
TEL 03-3243-6780 FAX 03-3243-6960 http://www.jnc-corp.co.jp/

アドレナリン抽出
1900年、米国の高峰研究室で高峰謙吉と上中啓三はアドレナリンを発見し、結晶化に成功した。これは世界で初めて単離されたホルモンである。
この実験ノートは生前に公開されなかった。1966年上中の息子が複製本を作成し、アドレナリン（上中啓三の菩提寺）で綴書き。1900年7月20日から1月15日までの実験ノートは片面だけの記述で綴書き。1900年7月20日から1月15日までの実験結果がつづられている。
(上中啓三の菩提寺である兵庫県西宮市名塩の教行寺)

第002号

上中啓三 アドレナリン実験ノート



第004号

ルブラン法炭酸ソーダ製造装置塩酸吸收塔



無機化学製品の生産
1889年、日産化学工業の源流企業の一つである日本合資製造会社が創立された。硫酸、ソーダといった幅広い無機化学製品を生産してきた。認定化学会遺産はルブラン法炭酸ソーダ製造装置塩酸吸收塔。食塩と硫酸から吸収塔跡。硫酸ナトリウムを製造する工程で副生する塩化水素ガスの吸収塔があった。現在、創業時に活躍した石造りの製造装置の一部が100年以上たつても崩れず残っている。広さ11.5m×10.5m、高さは約10m。

私たち日本農薬は宣言します。

No.

DATE 2011. 8. 24 (水)

これまで80年以上取り組んできた農薬事業において、常に向上心を忘れずに、最先端の化学を活かした安全で高品質な新製品の創出により、世界の食と環境に貢献することを。

さらにその創薬技術を応用することで医薬・動物薬など、多様な分野での技術革新に努め、健康で豊かな生活に貢献することを。

～生命と絆の
未来のために～

日本農薬株式会社

〒103-8236 東京都中央区日本橋1-2-5 TEL:03-3274-3374 FAX:03-3281-5462
URL http://www.nichino.co.jp/

C
International Year of
CHEMISTRY
2011